

国語、数学から
洋学、医学など
新しい学問も
他藩に先がけて
実践しましょう

しかし、
そのような
学問が果たして
武士に必要で
しょうか？

国を治め
民を豊かに
するために
その任に当たる
人物を得ることが
重要ですよ！
したがって
すぐれた
人材の育成こそ
明倫館は
目指さなくては
なりません！！

だが清風は
病のために
大工事の途中
三隅山荘へ
帰ることに
なります
学舎の完成を
見ることが
できないとは残念じゃ...

嘉永二年(一八四九年)
正月二十一日
明倫館新館は
完成しました

明倫館の
敷地内には
聖朝、講堂、
学校御殿、剣術、
槍術、礼文、天文、
算数、兵学、弓術、
水練池、練兵場が
設けられ
師、学生を収容する
学舎がありました

さて、
山荘に帰ってからの
清風は、これまでの
経験や学んだことを
たくさんの書物に
書き残します

海外の様子を
自分の目で
たしかめるには
これしか方法が
なかったのだ...

松陰！
無茶を
しおって！

いすれ
おまへ達
若者が
自由に海外へ
渡航できる
日もくるで
あろう...

とれまで
命を
とまっけ
するで
ないぞ

安政元年
(一八五四年)
吉田松陰が
金子重輔とともに
鎖国の禁を破り
下田沖から
外国船に
しのごこも
捕えられます

安政二年
(一八五五年)
五月二十六日
村田清風は
中風を再発して
この世を去ります
(享年七十三歳)

清風の死を
井萩の野山獄で知た
松陰は少年時代に
救えを受けた
清風の人柄を
しのび詩をつくり
手紙にしたため
送りました

長州は...日本は...
惜しみても
あまりある偉大な
人物をなくして
しまった...

藩の財政再建に
殖産振興に、海防に
教育改革に
辣腕を
ふるった
村田清風

彼の死後、
周布政之助をはじめ
彼が育てた多くの
人材は
その意志を
つぎ、
藩の改革や
人材養成に
つとめ
明治政府をつくるために
大いに活躍しました

維新回天の礎
時代を見通す
郷土の先賢
村田清風

彼は今
ふるさと三隅町
大歳山の墓地に
静かに
ねあてています
へ克

参考文献「清風読本」(三隅町教育委員会)・「村田清風入門」(平川喜敬著)

● 次号より「ふるさと人物伝2 香月泰男」が始まります ●